

# 岩見沢駐屯地創立39周年

## 第12施設群創隊 17周年記念行事



**IWAMIZAWA**

陸上自衛隊 隊地会  
 01 岩見沢市日の出台1-3  
 印刷所 北海道立福祉村  
 支 室知恵美沢町最上350  
 44 (0126) 45-2721

### 市民とともに祝う

岩見沢駐屯地では、九月二十日(日)、自衛隊協力会岩見沢隊区連合会(会長 笠原喜平治氏)及び隊友会岩見沢支部(会長 岡田徹也氏)共催の下、駐屯地創立二十九周年並びに第十二施設群創隊十七周年の記念行事を挙行了した。

式典は、渡辺省一衆議院議員をはじめ、能勢邦之右見沢市長、細川秀人空知支庁長等近隣市町村から多数の部内外来賓の列席のもと、一般市民等約千五百名が来賓し盛大に与り行われた。

式典の冒頭、鈴木通彦駐屯地司令は式辞の中で、部外工事、災害派遣等を通じて自衛隊は民政安定に努めつつ周辺の皆様と共に自衛隊も着実に



引き続き、米賀祝辞、威風堂々の行進では予備自衛官が殿(しんがり)を努め、観客を魅了した第十一音楽隊によるドリル演奏、最後に対戦車ヘリコプター他多数の装備品展示は、あいにくの雨にもかかわらず観客は足を止めて見入っていた。

アトラクションでは、巨大迷路、各中隊自慢の野外模倣売店、美術展、緑成園生に対する佐藤予備一曹による手品の披露、岩見沢駐屯地名物の「日の出焼」の展示・即売会等趣向をこらした多彩な催しに途中から降り出した雨にもか



かわらず訪れた市民は隊員と一緒に楽しんで一日を過ごした。なかでも「日の出焼」の人氣は高く、作陶会場は予想外に希望者が多く担当者

### 駐屯地司令式辞全文

秋晴れの爽やかな天気のもと、本日ここに渡辺衆議院議員様、能勢岩見沢市長様、細川空知支庁長様を始め多数の皆様を御臨席を賜り、自衛隊協力会岩見沢隊区連合会並びに隊友会岩見沢支部との共催により、かくも盛大に岩見沢駐屯地創立三十九周年・第十二施設群創隊十七周年記念式典を挙げて下さる事は、私を始め隊員一同深く慶びとするところであります。

ここに一同を代表して御礼の言葉を申し上げます。

岩見沢自衛隊は、昭和二十八年二月、道北と道央を結ぶ要衝の地帯別に金沢から移駐した第五三施設大隊が駐屯したのが始まりで、持ち前の施設技術力を駆使し国土防衛に任じますとともに、この間部外土木工事百八十五件、災害派遣四十八件を実施するなど地域の安定に努め今や全国

しかし、その一方で世界の平和と繁栄を願い国連を中心に諸国間の協調のもと、より安定した国際秩序造りの必要性が叫ばれているのも事実です。国連中心主義を標榜する我が国においてもこのような観点から、従来の経済的な国際貢献に加え人的貢献へと大きな第一歩を踏み出すことになり、国際緊急援助法が改正され、国際平和協力法が制定され、今まさにカンボジアに対する自衛隊PKOの第一陣が派遣されようとしております。

自衛隊の能力を最大限活かし、世界の安定の為に貢献する事は、平和国家日本にとり極めて意義深いものであり一人一人の隊員にとっても真にやり甲斐のある活動であります。

北方方面隊は来年四月頃に第二陣としての派遣が予定され、当第十二施設群につきましても未だ命令は下されてはおりませんが、その主力部隊としての派遣も十分に予期されます。これらの道は決して平坦ではなく苦勞の多い道でしょう。

しかし、未だ生活の基盤すら十分に得られていないカンボジア国民に希望の灯を提灯し、更に日本が世界の中で平和で繁栄した国であり続ける為の重要な一歩であり、その魁になりうる事を思う時私の胸には緊張感と言ひ知れぬ充実感がみなぎるのであります。自衛隊は、昨年雲仙曹賢岳で大活躍をし、又鳥松演習場で行った緊急医療支援訓練ヒックスキュー九一でも国民の御期待に十分応えうる事を証明しました。

自衛隊は第一に野外での行動にあたっては、食料や水、通信や電気そして居住場所す

宝石 創業85年 貴金属  
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

**(株)太田時計眼鏡店**

岩見沢市1条西4丁目  
TEL 0126/223353 223354

ら確保できる自己完結性のある組織であり、第二に十分に訓練された隊員と素晴らしいチームワークを有し、第三にこれらの活動に適したハイテク装備を大量に保有しております。

私共は国を守り、これらの活動にも十分に対応できるよう日夜訓練に励んでおり十分に御期待に沿いようものと確信しております。

しかし、これらは私共だけで出来るものではありません。国民の一人一人が自衛隊の活動・行動・訓練の実態をよく理解されその上でおられる御声援こそが最大の力となります。自衛隊は決して遠い存在ではなく身近な存在として国民一人一人のものであります。

本日は、隊員の手作りによる各種の行事を準備致しました。私共の実情をつぶさに御覧頂き、如何に信頼に足る細細かを御理解頂き、そして共にお楽しみ頂ければこれに過ぐる喜びはございません。

最後に隊員一同「信頼される岩見沢自衛隊」として精進努力することを約束し御協力頂いた皆様に感謝申し上げて式辞と致します。

# 隊友会岩見沢支部

## 「叙勲祝賀会」

隊友会では、平成四年七月十一日、ホテルサンプラザにおいて「大掛忠氏、水沢聖氏」の叙勲祝賀会を有志二十九名が出席して開催した。  
当日は、岡田支部長が仕事上の都合で欠席のため安藤副支部長が支部長代理で挨拶した後、記念品の贈呈・花束贈呈などがあり、叙勲を受けられたお二人を祝福した。  
自衛隊生活での長年の苦労が実って今回の受賞となったもので、隊友会員の誇りであり集まった人々の祝福を受けてお二人も感慨一入であったと思われまふ。

長崎記



叙勲祝賀会記念撮影



## ■ 苦 虫 ■

十年後の桜並木を夢みて、駐屯地に寄付を集めての植樹となったものであるが、寺村一佐が第一回の植樹で、訓示で、「各人が時々見に来て自分が植えた桜を手入れしてもらいたい。」と、今年には二年目になるが殆どの桜が根付きが良いようであるが、今後気になる事は草の中に生えている桜は「毛虫」に食われる事であろうと心配

草刈は絶対欠かせないことであり、虫予防の為に葉の散布を実施するなどの処置を取る必要がある。そのためには、業務隊などで責任者を決めて管理してもらいたいものだと思う。

せっかくみんなで植えた桜を大きくするまで育てて欲しいものである。

長崎記

## 「職場紹介」 岩見沢商工会議所



左より 佐藤（春）・齊藤・日小田・佐藤（陽）の各氏

商工会議所には、現在OBが四名（佐藤陽治、佐藤春男、齊藤綱男、日小田光）が勤務しております。  
商工会議所とは、どの様な性格をもっているかと申しますと商工会議所法（法律第一四三号）に基づいて設立された公益法人で、商工業の総合的な振興を通じて個々の企業の繁栄がはかれる唯一の地域総合経済団体です。  
岩見沢商工会議所は、業種・業態規模の大小を問わず地域内の全ての商工業の振興を計るとともに広く社会福祉の増進に資することを目的に活動しております。  
なお、現在会員として一千二百二十の事業所が加入して

日小田記

## 「結婚披露宴に参加して」

平成四年九月十九日十八時から網走のホテルで結婚披露宴を行うので、隊友会からも出て欲しいとの笹 豊秋氏より申し出があり、検討した結果、役員の中で長崎、小山、浅沼、橋本の四名参加する事になった。  
笹氏の御子息明彦君は、現在興部の中学校で教師として

●年金と医療保険のバイオニア  
●生涯の保障に終身保険(明朗)  
頭金制度により毎月安い  
保険料で大きな安心

# 東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

## 自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内  
支部長：勝井 祐輔  
TEL：0126-22-3445

勤務されており、新婦になられた美香さんも網走で小学校の教師として勤務しておられることから、網走で結婚式を執り行うようになった。  
結婚披露宴は、約二百五十名の人が参加して盛大なものとなり、お二人の新しい門出をお祝いし、我々四名も参加して本当によかったと感じている。  
また、おかげで翌日は、網走の観光もして天都山や網走監獄資料館並びに能取湖のサングラなどを見て回り、当地を午後出発して帰途について

長崎記

ビル管理資材、清掃用具、日用雑貨  
ビルメンテナンス(知事登録、北海道元清第6号)

## はしもと商事有限会社

代表取締役 橋本了

岩見沢市駒園5丁目6番地  
TEL 代表 (0126) 22-5546  
FAX (0126) 22-5546

## オール電化マンション

# レジエント

## (有) エイ

連絡先：岩見沢市6条西7丁目  
☎22-0087

## 総合商社

# 株式会社 君島商会

□本	社 岩見沢市南町8条2丁目	☎22-4613
□本	支 社 岩見沢市志文町2条3丁目	☎22-5813
□支	店 業 沢 町 本 町 10	☎45-2066
□石	油 部 岩見沢市南町9条2丁目	☎22-4565
□自	動 車 部 岩見沢市南町9条2丁目	☎22-6434
□オ	ートガム岩見沢 岩見沢市南町9条2丁目	☎22-7861
□コ	ンバス岩見沢 岩見沢市南町8条2丁目	☎24-8390
□岩	見沢南町店 岩見沢市南町8条2丁目	☎25-4840

# R C 検閲

## ☆検閲に参加して



第三七施設中隊 陸士長 高橋 侯男

今回九月二十九日から十月一日までの間、我が七中隊は検閲を受閲することになりました。

検閲の内容は、去年から第三施設団でおこなってきたRC作業を実施することになりました。

私は、コンクリート打設班の一員として毎日ショベルを持ってコンクリートを流し込んでいました。

コンクリートの打設は、モルタルが顔に着いたり、足が抜けなくなったり、悪戦苦闘の連続でした。

夜に入ると新恵庭橋の補修工事をおこないました。正面幅八メートル、長さ一メートル、深さ三十センチの既存のRCをコンクリートブレイカーで解体する作業でした。

さすが戦車の通行の為に作った舗装だと感心している場合ではなく、なかなか作業はスムーズに進みませんでした。

## 自衛官「陶芸家」個展開く

北海道はもとより、全国的にも有名になっている岩見沢の「おらが駐屯地」の二本社の一つ、陶芸「日」の出焼「三代目憲元北野一年准尉が、市内のインテリアプラザ富雅堂の二階ギャラリーにおいて、十一月六日から十一月十二日

までの間、初の個展(一人展)を開いた。

この個展は、富雅堂の開店にあたり店の格調を高めたことと社長意向を聞いた友人の口利きで岩見沢美術協会の会員である彫家工藤氏とともに二人展を開いてみようとい



た。時の経つのも忘れ、コンクリート板を解体してしました。群長の講評のとき、名指ある施設器材操作優秀隊員に名前が呼ばれたときは、驚くと共に嬉しさがこみ上げてきました。

工事は十一月月上旬まで行われませんが最後まで気を抜かず頑張りたいと思います。

## ☆検閲に参加して



第三七施設中隊 三等陸曹 斎藤 武彦

九月二十八日から三日間、三三五・三三六施設中隊の支援を受け、第三三七施設中隊の検閲が実施された。

初日、コンクリート打設のための型枠の設置、フリック修正といったもののように細かい作業で隊員の間からは「五ミリ開り」「四ミリ盛り」と言う声に「細かすぎるぞ」と言う声、何回も耳にしました。

三回ほど、フリック修正を繰り返した後、点検を受け、翌日の打設を待たただけとなりました。

朝、強い雨が降り打設は無理かなと思いましたが、九時過ぎ頃から雨が上がり、嘘のように晴れ渡り午後からコンクリートの打設二十四メートルを実施して検閲は終わった。

結果は、「優良」との事でした。これは、中隊全員が団結し合った結果だと思えます。

この団結が、のちの九十六メートル打設と言う偉業を成し遂げたものだと感じます。

検閲だけでなく、天候等で作業が遅れたり色々大変なRC工事。まさに「夢区間」だと実感しました。

# 駐屯地司令杯争奪少年少女剣道大会

岩見沢駐屯地は、十一月十五日、駐屯地体育館において第三回岩見沢駐屯地司令杯争奪少年少女剣道大会を開催した。

この大会は、地域の青少年育成の一環として平成二年から岩見沢剣道連盟の後援を得て精神修養と体力・気力の向上を目指している中学生以下のチビッコ剣士達を対象に大会を計画しているもので、毎年多くの少年少女が参加している。



### \*団体戦

優勝：岩見沢Aチーム  
準優勝：幌向Aチーム  
第三位：鉄北Aチーム  
\*個人戦

切り返しの部  
第一位：中村 順子さん  
第二位：小玉 将光君  
第三位：富野 篤生君  
小学生四年生以下の部  
第一位：一戸 周太君  
第二位：福田 潤君  
第三位：石井 伸介君  
小学生五年生以上の部  
第一位：小野寺 室師君  
第二位：梶井 邦治君  
第三位：嶋賢 勇斗君

小学生女子の部  
第一位：梶井 寛子さん  
第二位：上田さやかさん  
第三位：竹山 恵美さん  
中学生男子の部  
第一位：中居 裕介君  
第二位：板橋 史展君  
第三位：吉岡 真吾君  
中学生女子の部  
第一位：宮腰 礼子さん  
第二位：中村 深雪さん  
第三位：吉田 悦子さん



お互いに鋭い剣の応酬で白熱した試合が相次ぎ、応援に駆けつけた父母らは盛んな拍手を送っていた。

試合の結果は次のとおり

うことで話が進み開催の運びとなったものである。

今回展示した作品は、憲元になつてからの作品が多く、北海道美術作家協会賞に輝いた「蛇紋重手花生」を含む三十点であるが、中でも最近三魂を傾けている「家散」の作品は土の芸術らしく重みと優雅さを見事に表現したもので

ある。

また、軸葉にも工夫を重ねたものも多く、一位灰(おんこ)、林檎灰、タバコ灰、バラ灰(バラの根)等の作品もあり、会場を訪れた市民の目を惹きつけていた。

も熱心で陶芸愛好者からは自衛隊の先生として信頼され自分の作陶をする暇もないほど多忙な毎日である。

個展を無事終わって「この個展を一つのステッパにして今後自分で満足でき、しかも皆さんに認めてもらえるような作品を作りたい」と意欲を語っていた。

安心しかり  
愛車もしかり  
車検費用積立プラン  
**富士火災**  
担当 松浦直樹  
岩見沢支社 Tel 23-5142

コニカカラー百年プリント  
カラープリント45分仕上げの店  
**カメラの田沢**  
ビデオ  
〈各種クレジットカードOK〉  
岩見沢市1条西4丁目 ☎22-4848

サンプラザ ウエディングプラン  
**エメラルド**  
挙式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格!  
ご両家ご負担 **25万円**  
**ホテルサンプラザ**  
岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

**千葉電気工事株式会社**  
代表取締役 千葉 嘉男  
岩見沢市東山町2番地71  
電話 (0126) 24-4567番

続・完全週休特集

◇土・日曜日の過ごし方◇



駐屯地業務課 大田 剛人

完全週休二日制が実施され、早、半年、自分の時間が増えたと喜ぶ反面、その増えた時間をタラタラと過ごしてしま...

他の人はどうゆうふうにごしていらっしゃるのか？普通の人は悩んでいる事でしょう。しかし、私はそんなことを考えた事はないのです。平日は、やる仕事は沢山あります。自衛官時代に経験してない仕事ばかりで一日中気が張っているため、仕事が終わって家に帰ればもう何もやる気が起きないのです。そのかわり、土・日曜日には、目いっぱいやりたい事をやっているのです。土・日有意義に過ごすと思うならば、平日を一生懸命働くことだと思えます。私はこのようにしてとても楽しく土・日を過ごしています。



第三三六施設中隊 陸士長 下川 和之

私も自衛隊に入隊して早二年半が経ちつつの間にか階級も一本から三本になり、毎日

が楽しく充実しています。最初は外出も少なく、土曜日だけかでしたが、今はほとんど毎週外出をしています。金曜日の夜から外出をして、自分は映画鑑賞が好きなのでレンタルビデオで二本、多い日は四本くらい借りて下宿で夜中の三時頃まで見ています。土曜日の朝は、何もしないうちから目覚め、目覚めると目覚めまで寝ています。昼間はパチンコや天気のよい日はドライブを楽しんでいます。また、自分はゴルフが大好きなので練習場に行ったり打ちっぱなしで汗をかいています。冬はスキーを楽しみ、下宿は借りていますが、主に外で行動しています。



第三三七施設中隊 五等陸曹 斎藤 武彦

私の土・日は寝てばかりでなく趣味に明け暮れ充実した日々を過ごしています。金曜日の課業終了と同時に私の土・日曜が始まります。まず部隊の風呂で身体を清め、夜の十時を前後に同僚三、四人で出合いを求め、岩見沢三条小路を拠点とし、一人を偵察に出し店を決め、全員一致したならその店におちつきます。

この金曜の夜はいつも遅いので土曜日は昼まで寝ています。

◇釣り結婚

第三四二施設中隊長 一等陸尉 熊谷 裕文

・はじめに 大公望、釣りバカ、釣りキチ、釣りを趣味とする人の呼び名は色々ある。

私と釣りは、物心ついたときからの永い付き合いであり、かく言う私も釣りバカいや釣りキチの部類であろう。どれくらい釣りキチであるかは、今から結婚にまつわる釣りのエピソードを二つ紹介するので判断して貰いたい。・エピソードその一

「自分で釣り上げた結納の真鯛」昭和六十三年、九州で勤務していた私は、結納の真鯛(内地では雌鯛、雄鯛をワンセットで結納の一品として収める)をどうしても自分の手で釣りたくて無理を言って約一週間の休暇をもらった。

長崎の馴染みの船長に事情を話し「外道無しの大鯛一本勝負、釣れるまで帰らない」と打ち明けたところ、意気に感じて「こん船は釣れるまで

彼女の仕事が休みの時はいつも電話がくるのでそれで起き、デートします。しかし、休みが合わないことが多いので、そんな時は同僚とドライブしたり、お金の無い時は、近くのレンタルビデオで大人のテープを借りて一日中ビデオを見ています。また、食事はいつもコンビニで買う弁当、最近はずいぶん屋敷の五百円の内弁当ですませています。

土・日はいつもこんな感じなのです。このすさんだ土・日の生活にビリオドを打つために早くお嫁さんを探し結婚したいと思う今日このごろです。

あんなの貸りた。なんも心配せずに大鯛はしとめんしやい。」と言ってくれた。目指す獲物は雌鯛七十センチ以上、雄鯛六十センチ以上の大物である。

船長は六時間かけて東シナ海近くの一級ポイントまで船を出してくれられた。釣りに着くまでよほど真剣な顔をしてたのか、あんなの気迫なら絶対釣れる。絶対釣れるけん。」と船長は繰り返してきてくれた。

洋上で三日間、殆ど不眠不休でねばり、ついに八十一センチの雄鯛、六十五センチの雌鯛をはじめ四十七尾、約三十五キログラムの真鯛を釣り上げ、私の大勝負は終了した。

船長は私の手を握り「あんたなら釣る、あんたなら釣るち思うとったばい。」と繰り返して言ってくれた。生涯最長の釣りであったこと、また異常な高々大鯛をひっさげて結納したのは言うまでもない。・エピソードその二

「新婚旅行すっぽかし事件」六十二年八月北海道転属が決

まった私は、七月二十五日入籍した。しかしながら、当時短大二年生であった妻を九州に残し、新婚早々の单身赴任となってしまったのである。

翌年、平成元年四月、妻の卒業を待って十日間の休暇をもらい福岡まで妻を迎えに言ったときの事である。フェリーと陸路の往復四日間を除くと六日間が自由になる日数であった。私は六日間の内、一日目を釣りに、二日目から五日目までを新婚旅行に、そして残る一日を福岡での披露宴に当てた。

計画は万全であり完璧に見えたが、今考れば釣りを一日目に計画したのが大きな間違いであった。

一日目の午前一時頃、妻の実家を出発した私は約一年ぶりに前述の船長と再会した。やはり、熊谷さん札幌からわざわざ来てくれたとは。ありがたかぬと、今日ではシコタマ釣らせるばい。」といつものごとくいつもの通りであった。言葉とは裏腹に一日目は殆どぼうず。「せっかく札幌から来てくれたのに申し訳なかね、今日はうちに泊まって明日もう一日釣っていかんかね。」と甘い誘いに乗ってしまい、若干の罪悪感を感じつつも「少し旅行の出発を遅らせればいいんだ。」などと考へ、連絡も入れずに二日目に突入。結果はまたもやぼうず。私も船長も意地になって三日目もぼうず。

4日目は朝から大当りでもキロ級の真鯛が次々と釣れ上がった。もはや頭の中には、新婚旅行も罪悪感のかけらも無く、まさに「海

に向かって言うこと無し」であった。六十二センチを頭に二十六尾の真鯛を釣り上げ得意満面で意気揚々と船を降りた私は、現実にかえり「しまった。」と思ったが後の祭りである。

新婚旅行をすっぽかし、おまけに四日間連絡も入れなかったのである。「さて何と云い訳をしようか。」などと考へながら妻の実家に着いた私を待っていたのは、妻と妻の両親の冷やかな視線であった。針のむしろのような一日を過ごし最終日の六日目、披露宴の日を迎えた。

披露宴と言っても田舎のこと、家に親戚、知人、近所の人を招いての宴会である。食べ切れないほどの鯛の刺身、塩麴が招待者全員に振る舞われ豪華な披露宴となったのだが、「たまき(妻の名)の嫁さんは大物ばい、新婚旅行をすっぽかして四日間も釣りに行って帰ってこんかっただげな。」「ほうほう、そら大物ばい。」妻と妻の両親の顔がひきつるのを横目で見つつ、「お願いだから無責任な発言はやめてくれ」と心の中で叫びながら無事披露宴は終わった。

妻は事あるごとに、この話を持ち出すのである。・おわりに私の生涯の趣味(娯楽)は、あくまでも釣りなのである。いくらゴルフに誘われても絶対に行かないのである。何故なら、もし万一ゴルフにのめりこみ、釣りのほかにもう一つ夢中になる世界が広がれば、いくら温厚な妻でも爆発し、我が家は家庭崩壊の一途をたどること間違い無いからである。どうか皆さん、私をゴルフに誘わないで頂きたい。



これが新婚旅行をすっぽかしての釣果!!

悪感を感じつつも「少し旅行の出発を遅らせればいいんだ。」などと考へ、連絡も入れずに二日目に突入。結果はまたもやぼうず。私も船長も意地になって三日目もぼうず。4日目は朝から大当りでもキロ級の真鯛が次々と釣れ上がった。もはや頭の中には、新婚旅行も罪悪感のかけらも無く、まさに「海

時代を一步リードした 中庭のあるモデル住宅 柏崎建設設計事務所 代表取締役 柏崎 昭明

株式会社 本堂建設工業 取締役社長 本堂 春夫

近江建設株式会社 特定土木建築許可 一級建築士事務所 代表取締役社長 近江 雅章

### 協方会会員施設見学

▼自衛隊施設見学に参加して▲



栗沢町自衛隊協力会 会長 栗沢 三郎  
副会長 宮森 富春

栗沢町自衛隊協力会は、毎年の事業計画の中に、会員相互の親睦と防衛に対する研修を目的とした自衛隊の施設・行事の見学旅行の実施があります。本年は九月十六日、会長はじめ事務局並びに会員併せて百二名が四台の車に分乗し、広報班長に案内して頂き、南恵庭駐屯地第三施設を見学いたしました。

到着と同時に南恵庭駐屯地の概況の説明を聞いた後、訓練を見学する機会を得ることになりました。岩見沢では見る機会の少ない自走浮橋による訓練や第十二施設群が実際に道路新設工事を行っている現場を見学いたしました。

工事現場には、第三七七施設中隊の岡本中隊長さんが指揮し、大・中型ドーザー等を駆使しての懸命な作業が行われておりました。

岡本中隊長さんのお話によると、皆様お元気ですか？

ペーパードライバー歴十二年の私が思い切って車を購入したのは、六月十九日です。

購入する前に、いろいろな人に同乗してもらい、又、自動車学校にも五日間通って、猛々特訓をした結果、なんとか一般道路を走れるようになりまし。

最初はアパートと部隊の間の往復だけの毎日でした。

りますと、ドーザー作業方法も通常の方法及び異なり、下方から上方に掘削・運土する工法との事であり、非効率な作業方法であるがこの選択は、河川の汚濁防止等によるものだとお聞きし、自然保護等に最大限の配慮をしての工事に改めて感服致しました。また、本工事は昨年引続き行われ、第十二施設群の名譽ある歴史の工事であることも認識致しました。

訓練の見学を通じ、岡本中隊長さんを中心にして、中隊隊員一丸となって本工事の完遂に努められ、大金字塔を打ち立てられんことを念じた次第です。

また同日、東庭での野営訓練から急ぎ岩見沢へ帰隊された陸自駐屯地司令には、P.K.O派遣準備命令通達との旨を、翌日の北海道新聞で知りまし。

陸上自衛隊協力会岩見沢地区連合会傘下会員の一人として身が引き締まる思いで一杯であります。鈴木駐屯地司令は記者団に「世界に貢献する隊員の一人に選ばれて光栄に思う。隊員を送り出す家族が安心して生活できるよう態勢

が、それでもハラハラドキドキととしていました。しばらくして、当別の実家に帰省する前の日は、まんじりともせず

うになつたと思ひます。本当に車とは便利なものです。しかし、交通事故が多発する昨今、慎重な運転を心掛ける、事故の当事者にならないように、また、顔を持った車を運転するといふ事を肝に命じ、楽しいドライバーライフを作っていこうと思ひて

います。最後に私の運転の方々に紙面をお借りして深く感謝致します。

雑感  
栄養士  
仁敷 きよみ

を整えたい。」と述べられた事が報道されました。時あたかも、第十二施設群の訓練を見学し、偶然にも同じ日にP.K.O派遣が現実的になる岩見沢駐屯地部隊の隊員の皆様が世界人類の為に、日本国家を代表されての派遣と推察し、崇高なる使命に対し衷心から敬意を表しますとともに、任務を完遂して元気で原隊に帰還されますことをこ祈念申し上げる次第であります。

### ▼自衛隊施設等の見学に参加して▲



兵庫 勝太郎

八月十九日に行われた平成四年度の見学旅行先は、真駒内駐屯地(外二箇所)であった。参加者は、二両のバスに分乗し司令業務室の広報班長さんのご案内である。

八時三十分市役所前を出発し、真駒内駐屯地十時到着であった。

先方の自衛官から駐屯地の規模や、雪祭りなどのお話を聞いて後、戦車を囲む参加者にその説明がなされた。この戦車は七四式戦車で、重量や

主な武装など諸元について述べられたうえ、戦車が傾斜地を横断走行するとき車体上部を水平保持に対応する操作が実演された。

説明自衛官の合図によって車体上部片側が忽ち四十度も上げられ、上部だけ二十度以上傾いた。平地でこの形、傾斜地であれば上部は平ら、キヤタピラで四十度下がることになる。説明自衛官から「何か質問は」との声にN氏から「この戦車の価格はいくらですか」との問いに「傍らの上官らしい方と数秒間耳打ちされて、凡その額を答えられたが、記述を割愛する。」

次に見学者全員が戦車への搭乗体験となった。ヘルメット、革の長手袋をあてての用意が出来た者から順次、戦車上部に設けられた安全鉄棒の台上へ、六名が乗り終えりと出発。二両の戦車でそれが繰り返される。一周六百メートル位の広場を走行するのであるが四箇所の曲がり角では減速するものの直線では後方に上がる砂煙を見ても時速五十軒近い感じ、安全棒を握る手に力が入り革手袋を通しての音が痛かった。

参加者の男女共に乗り終わった人は背中を払い合っていた。

次は広大な食堂へ案内されて昼食を頂く、若い隊員方と同時である。金属盆を持ち一列になってカウスター沿い前進すると一食品毎に広い間口の渡口台の上に手早く並べられ行く主食や副食の盛り合わせ牛乳等を盆に載せる。

通りかかった給食担当らしい隊員にこの食事のカロリーを尋ねると、「笑顔で千六百キロカロリー」と即答された。自分の軍隊時代のこと、先程の戦車実演のこと、この昼食

のこと今昔の感一人のうちに美味しく頂いた。終わって食器類は各自が荒洗いして戻すのであるが隊員や見学者で混み合う洗い場へ私が近付くと隊員の方が横からさつと取って下さった。

次の日程は十三時発でサツポロビル、最後は雪印乳業をそれぞれ見学し帰岩した。この見学旅行で新しい発見と人間的勉強、更には新聞TVで報せられるP.K.Oに対する右左の報道(これを書いている現在の具体化している)に一層の関心を強め、何れくる岩見沢駐屯地のカンボジアの任務が無事果たせるよう、協力は勿論一市民として間接的な国際協力に努めてはと念じるものである。

十月六日、中秋の空があく

感動の旅を終えて▲

まで高く澄み渡る早朝、三笠市自衛隊協力会、同志三十八名と共に胸おどらせて車中の人となる。

現地カンボジアでは、これから雨季を迎え最も過酷な自然環境が待ち受けているとの事で、どうにか、無事任務を全うされ、千秋の思いを待つか家族のもとへ、一刻も早く元気に帰還される様心から祈念するものであります。

近江会長を始め、広報班長、更には協力会役員各位の御高配により、大変素晴らしい一日で有りましたが、自国の安全と世界平和のために、自らを盾として任務遂行に当たって居られる自衛官各位に深い感謝の念を禁じ得ない一日でも有りまし。

いまここに、改めて全世界の異なる文化や宗教、そして思想の違いを越え、平和と自由で豊かな社会が実現されるよう、人類の栄光と創意をもって取り組まなければならない事を痛感すると共に、我が国自衛隊も一層奮励努力され、国際秩序安定のため、限りなく前進されん事を心から念願し、研修感想の一端とします。

約五年間の委託医に別れを告げ、昨年十一月一日に採用されたばかりのホヤホヤの歯科医です。

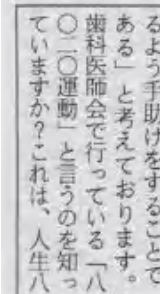
私の歯科医官としての使命は、「患者さんが一本でも多く自分の歯を残して、死ぬまで楽しい食生活を送れるよう手助けをすることである」と考えております。

歯の事なら私におまかせ

十年時代を迎えた今、「将米八十歳になった時に二十本の歯が残っているようにしよう」という運動です。

では、実際に現在八十歳の人達の口の中には何本の歯が残っていると思

は、何本の歯がありますか？統計で一人平均五本という数字がでまし。この五本という数字から二十本残すことがどんなに難しいものかが想像できますね。



一海陸尉 平野 遼江

さて皆さんの口の中には何本の歯がありますか？鏡を持ってきて口の中をよく見て下さい。教えてみて冷汗の出る方は、医療室歯科までおいで下さい。

陸曹候補生に指定されて



第三三七施設中隊 陸曹 陸谷 充晃

私は、やっと念願の桜のバッチを手にする事が出来まし

昨年十月に初めて一次試験に合格したのですが、二次試験の面接が思うようになり、不合格に終わってしま

きのこ狩りに参加して



陸中地業務隊 陸曹 大塚 悦子

何となく怪しい空を眺めながら、久振りの秋の味覚の「きのこ刈り」に希望を胸に膨らませ、主人と山道を歩き始

天候不順で少し肌寒く、紅葉の季節には、今ひとつと言ったところですが、まあ、大好きな山菜の一つでもあり、ダイエツト食品でもある「きのこ」が手に入り、最近どこに行くにも車社会、運動不足の中年夫婦にとっては良い運動不足解消の一石二鳥と思

ヘリコプター体験搭乗して



日向事務官 八重子

分隊教練、面接、体力練成に明け暮れる毎日でした。その結果、二次試験に合格することができ、喜びと感動で胸一杯でした。

年が明けてからは、教育で忙しくなりながらも、それまでの間、心身共に鍛え、ベストの状態教育に臨みたいと思

時々我が家の上空を自衛隊のヘリコプターが飛んでいるのを見ておりましたが、私も一度乗ってみたいと思

さて、説明を受け、いよいよ搭乗の時がきました。もしかしして落ちることはないか、保険には入っているはず等々

また、上空から地上を見るこの下で毎日生活をしている私達の悩みやトラブルなどは、何か小さく感じられ、降りた後も少し心を広く持たなくては……と思

私達の持つて来た数少ないきのこの中にもアブナイ種類が少々あり残念な気もした

定年退官

定年退官 岩見沢振興公社

隊員の皆様 楽しい一日、ほんとうに心から充実した一日、を与えて下さいまして有り難度ございました。

陸曹候補生指定 (10・1付) 本部管理中隊 士長 斎藤 護 第三三六施設中隊 士長 森 武臣 第三三七施設中隊 士長 谷 充晃 第三四二施設中隊 士長 小松 和憲 第三二二施設器材中隊 士長 村尾 孝昭 第三一三施設器材中隊 士長 高橋 道行 9・24 就職先 岩見沢振興公社

結婚おめでとう 第三三六施設中隊 三尉 森田 勝彦 9・20 妻 幸子さん 第三二二施設器材中隊 三曹 村上 直樹 10・1 妻 美穂さん 第三三五施設中隊 三曹 西野 孝一 10・1 妻 美紀さん 第三二二施設器材中隊 三曹 長田 聡 10・10 妻 裕美さん

結核おめでとう 第三三六施設中隊 三尉 森田 勝彦 9・20 妻 幸子さん 第三二二施設器材中隊 三曹 村上 直樹 10・1 妻 美穂さん 第三三五施設中隊 三曹 西野 孝一 10・1 妻 美紀さん 第三二二施設器材中隊 三曹 長田 聡 10・10 妻 裕美さん



「いぶさたしています」

夫人方では、在岩見沢当時の除雪の苦勞話でもちきりでした。 (出原君) 湯浅元大隊長、杉山元大隊長、園部一佐、杉尾一佐、同夫人、出口三佐、同夫人、矢馳一佐、梅崎一佐、同夫人、前田一佐、同夫人、佐野一佐、渡辺一佐、徳田一佐、桜田三佐、同夫人、青波三佐、外川三佐、斎藤一曹

おしゃれの店 洋品のマルカワ 高橋邦夫 岩見沢市3条東1丁目 ☎(22)1224

だから二人の時間を刻みたい よろしければ... Iwamizawa Heiankaku Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143

安心とゆとりのプラン 協栄生命 LLワイド 更新型 余裕資金を上手に活かして大型保障 協栄生命保険株式会社